

秋田県のコミュニケーションデザインについて

秋田県では、本県のイメージアップから観光誘客及び県産品の消費拡大へとつなげるため、全国が「秋田」に目を向けるきっかけとする新たなキャッチコピーとロゴマークを平成24年1月1日に発表しました。

新キャッチコピー

あきたびじょん



新ロゴマーク



■コンセプト

じっと、秋田の「今」を
見つめ直してみると、
そこに日本のタカラモノのような
あきたが見えてきました。
「どこまでもニッポンでいよう！」
あきたびじょん。

- 「あきたびじょん」は、秋田の本質を表現したキャッチコピーです。
- 秋田には、ユタカに実る農村がある、うまい米からうまい酒をつくる、日本一の子どもの力を育む、豊かな森をつくりその森に学ぶ、歴史・文化を伝承することなど、日本が失いつつあるニッポンの本当の良さが、秋田では大切に受け継がれ、残されています。
- 人間が暮らしていく上で必要なもの、「本当のユタカさ」が秋田にはある。こうした足元にある秋田の良さを秋田県民自身が認識し、誇りを持って、前へ、未来へ進もう、「足元を見つめながら前へ！」という意味が込められています。

■デザインの狙い

A. メインコピー「あきたびじょん」

- 一見、「あきたびじん」に見えるが、よく見ると「あきたびじょん」というところに、ユーモアがあり、「何だろう？」と、まずは見る人の目を捕らえる、言わばアイキャッチし、見た人のコミュニケーション・スイッチを入れることを狙っています。
- 老若男女問わず、この秋田の大切なものを守り続ける全ての人々が、「あきたの美しき人々」、言い換えれば「あきたびじん」であることが、メッセージとして込められています。

B. サブコピー「あんべいいな秋田県」

- 秋田は、行き過ぎない、おごらない、ちょうどいい、美しい国。それは「遅れているところ」とするかどうか。日本は、おごり過ぎた物質社会だったのではないだろうか？東日本大震災以後の価値観は「ちょうどいい」にあります。
- 秋田弁「あんべいいな」は、日本のあるべき姿を示しています。「ちょうどいい」を「あんべいいな」に託して、「本当のユタカさ」を見つけていきます。

C. ロゴマーク

- 黄色い楕円は“秋田のユタカさ＝光”を表現し、忘れかけているニッポンの美しさをのぞいて見ようよということを表しています。

D. ポスター

- 秋田の本質的な魅力をポスターで表現しています。

